

# EM200Bとピクシスの利用方法 Version-3

2021.02.17

## Step-1 EM200の極軸合わせ

Polemasterを使って極軸合わせを行う。

## Step-2 ピクシスの初期設定

### 1) 観測地の緯度経度設定

- ①FUNCボタンを押しながらAボタンとBボタンを同時に押しシステムメニューに入る  
⇒ Site Select
- ②上下ボタンを押し「観測地の登録 (Site Edit)」を選びBボタン (決定ボタン) を押す  
⇒ Site Edit
- ③緯度の入力画面が表示される ⇒ 入力後Bボタンを押す  
⇒ Longitude  
例：135° 45'
- ④経度の入力画面が表示される ⇒ 入力後Bボタンを押す  
⇒ Latitude  
例：N45° 32'
- ⑤国際標準時と現地時間の時差の入力画面が表示される ⇒ 入力後Bボタンを押す  
⇒ Time offset  
+09
- ⑥登録名称の入力画面が表示される。 英文字で3文字のみ  
⇒ KAS (例： 春日部)

### Step-3 望遠鏡の向きとピクシス内部の位置情報を合わせる

- 1) 基準星を決める。 例：アルタイル、カペラ、シリウス、デネブ、ベガ、ベテルギウス
- 2) 基準星（例：シリウス）を望遠鏡の視野、なるべく中央に入れる
- 3) FUNCボタンを押しながらBボタンを押す。 ⇒ オブジェクトメニュー入る。
  - ① SelectObject ⇒ Bボタンを押す
  - ② Select Type  
Messier ⇒ **上下ボタンを使って「Star List」を選び、Bボタンを押す。  
内蔵の基準星からシリウスを選択する。**
- 4) **最後の設定を行う ⇒ 望遠鏡が向きとピクシス内部の位置情報の合致**  
Sync + Bボタン ⇒ オブジェクトメニューに戻る。

**ここまでは出来た！！ 2月13日**

## ASIAIRとの接続 — 自動導入方法

望遠鏡の向きとピクシス内部の位置情報を合わせる 「SYNC」 した後

### Step-1 ASlairのスイッチをオンにする

- 1) コーディネートモード
  - ①FUNCボタンを押しながら上もしくは下ボタンを押す
  - ②コーディネートモード  
現在望遠鏡が向いている座標軸が表示される。  
例： RA 18h04 ,3 赤経座標  
Dec - 47° 55' 赤緯座標

**2) PlateSolvingを行う ⇒ Asiaairの「Sync」をポチッとする  
(※これで同期が完了するはず) ⇒ これが出来なかった(2月13日)**

- 3) Asiairより任意の天体に導入する。